

WEEKLY REPORT

さて話はもどり自己紹介をさせていただきたいと思います。
1982年生まれ・S57年4月6日にうまれました。皆さんの大好きなゴルフでいいますと岡本綾子プロがアメリカLPGAツアーで初優勝した時です。大相撲ですと千代の富士が数多く場所優勝した時です。そのほかには、初代500円硬貨ができました。そんな年に生まれすくすく・のびのびと育ててくれました。

生まれは東京都北区・育ちは松戸市六実になります。
小さなときは近所のおねいさん達にかわいがられたおかげで女好きに育ってしまいました。幼いころは女の子に間違われるくらいかわいかったみたいです。

高校を卒業2年間遊んだ後、建築会社に就職・26歳で結婚・独立をしました。
子供は26歳で第一子・女の子、27歳で第二子・女の子、31歳で第三子・男の子、32歳で第四子・女の子、35歳で第5子・女の子に恵まれました。

ただ第4子が生まれた時がたいへんでした。産まれたときに体に異常があったのです。すぐに大きな病院に運ばれいろいろな検査をしました。検査では異常値がみられずいろんな症例からコルネリア・デラング症候群ではないかと、お医者さんにいわれました。この時ばかりは落ち込んでしまいました。妻の方がショックだろうし、これからの不安もあります。そしてお家には子供たちが3人待っているからです。話し合っても妻の本当の気持ちはわかりませんが、お互いができることをやっていく。心の芯が強い妻でよかったとおもいました。

第5子を産むときはまた、障害をもった子が産まれたらどうしようとおもいましたが五体満足で産まれました。この時ばかりは、出生前診断をするか悩みました。

今回は出生前診断についてお話したいとおもいます。
先天異常は生物が存続していく過程で必然的に発生し、しかもその頻度は、比較的高く、人では3～5%の頻度で発生されている。この先天異常の原因には、偶発的に発生した染色体異常や内的因子が大部分をしめるが、外的因子（いわゆる環境要因）もあり、これらの異常を胎児の段階で診断しようというのが出生前診断である。

途中省略
出生前の染色体異常検査は染色体異常が判明した時点で、人工妊娠中絶を選択することが多く倫理的問題があるといわれています。

ただ障害をもった子を育てるのは健常者の子供を育てるのに比べて大変です。時間も労力もはるかに子供に費やします。覚悟をしても簡単にはうまくいきません。共働きだとさらに大変で第三者の助けがないと、無理だとおもいます。私の経験からは、周りに出生前診断を勧めております。

異常があった場合は、夫婦で話し合い答えを出すこと。話が長くなってしまいました。こんな感じで今回の卓話は終わりとさせていただければと思います。
本当は仕事の話もしたかったのですが原稿を書く時間がなく、またの機会とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

〈近況報告〉 寺川忠男 会員

すばらしい小椋さんの卓話ありがとうございました。

私は、コロナ禍で外出がままならない状況です。私はギャンブルが好きなのですが昔のように麻雀仲間もいないので、最近では池波正太郎と藤沢周平の時代劇小説を読みふける日が続いています。

小椋さんのように勉強して皆様の前で、また何かお話ができる機会があればと思います。



社会奉仕基金 2,591円 《会報編集委員》鈴木悦朗・小澤直之・大塚精一・小椋伸也



2020-2021年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

松戸北ロータリークラブ会報

WEEKLY REPORT



ロータリークラブに参加しよう

地元の町や世界をより良くしたいと願うロータリーの120万人の会員は、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

<https://www.rotary.org/>

第2295回例会 2020年8月26日(水)

- 国際ロータリー会長 ボルガー・クナーク
- 第2790地区ガバナー 漆原 摂子
- 第13Gアシスタントガバナー 山田 正記
- 松戸北ロータリークラブ会長 三村 藤明
- 松戸北ロータリークラブ幹事 崎谷 延好
- 例会日 - 毎週水曜日12:30より (第1例会18:30)
- 例会場 - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイイツ101
- TEL/FAX - 047-711-5950 / 047-711-5910
- Web/Mail - www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

WEEKLY REPORT

<2295回 例会プログラム>

司会 野澤新之助



12:30	食事 例会開始時まで各自食事をする	
12:50	点鐘	三村藤明会長
12:51	会長挨拶・報告	三村藤明会長
	幹事報告	崎谷延好幹事
13:05	卓話	小椋伸也会員
13:20	近況報告	寺川忠男会員
13:25	【委員会報告】	
	本日の社会奉仕基金発表	
	社会奉仕委員会	柳 孝実委員長
13:30	点鐘	三村藤明会長

<会長挨拶> 三村 藤明 会長

次週は、山田正記ガバナー補佐が訪問されますので、よろしくお祈りします。さて、8月は、ロータリーの会員増強・新クラブ結成推進月間です。クラブ会員増強のためには、①入会候補者を見つける、②ロータリーについてもっと知ってもらう、③入会を促す、④積極的な参加を促すことが大切だと言われています。入会候補者を見つけるためには、会員の多様性と職業分類を定期的に調査し、クラブにはまだいないタイプの人やロータリーの活動に関心を示してくれる人を見つけることが大切でしょう。ロータリーについてもっと知ってもらうためには、奉仕活動や例会に招待するということが必要です。入会を促すというのは、きちんと入会式を開催することとか、家族も参加できる例会にするということが言われています。そして積極的な参加を促すには、新会員を対象としたオリエンテーションを実施し、クラブの活動に積極的に参加してもらうことが重要でしょう。



もっとも、クラブが魅力的でなければ会員増強といってもなかなか自信をもって勧誘することが難しいでしょう。特に、現在のコロナ・ウイルスの感染予防の観点から外出自粛という雰囲気の中では、積極的な奉仕活動や会員同士の親睦ということが非常に難しくなっています。そして、この状況はしばらく続くと考えた方が良いでしょう。

まずは、例会に足を運ぶということがなかなか難しいという会員のためにも、例会のオンライン化からはじめることとしたいと思います。来週から始められる予定だそうですので、皆さんに周知してもらって、積極的な例会参加を促していきたいと思っております。

さて、本日は、小椋伸也会員の卓話がありますので、大変、楽しみにしております。以上で会長挨拶とさせていただきます。

<幹事挨拶・報告> 崎谷延好 幹事



1.例会変更のお知らせです。

- ・松戸西R.Cと松戸中央R.Cからガバナー公式訪問の為 9月1日に柏日本閣で合同例会となります。点鐘12時30分
- ・松戸R.Cと当北クラブとの合同例会を9月23日松戸商工会議所において行います。ガバナー公式訪問の為、点鐘は12時30分です。

2.次にポリオプラスにおける報告です。国際R.Cオルガナクナーク会長より、メッセージが届いております。（世界保健機関（WHO）アフリカ地域の野生型ポリオウィルス 根絶が認定されました。今後とも全世界での根絶をめざし、ご協力ご支援宜しくお願いします。）との事です。

3.最後に日本のロータリー設立100年を記念して、記念切手が出ました。ご興味のある方は事務局までお問い合わせください。

WEEKLY REPORT

<新入会員卓話> 小椋伸也 会員

こんにちは！会員の小椋伸也です。 去年の12月の家族例会から出席させていただき約8か月、正式に入会させていただき半年がたつでしょうか。

とても皆様には、あたたかく、優しく、孫のように、あっ、息子ですね。いろいろと教えていただいております。歓迎会や呑み会のお誘い本当のありがとうございます。そして、これからもご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

さてこの入会してからの卓話は、ロータリークラブでの第一関門だとおもってました。7月頃から野澤会員から話を受け、9月にやる予定が急遽、8月の今回の例会に前倒し、いつも優しい笑顔の野澤会員が鬼に思えたのは確かです。



この「卓話」は、諸先輩方の前で私が何をしゃべればよいのか、とても悩みました。皆さんに初めての卓話は何を話したか聞いてみると「仕事の話」、自己紹介みたいなものだよと教えていただきました。

文面を考えてると、ふと思い「卓話」という言葉を調べてみました。正直な話、この卓話という言葉ロータリークラブに入るまで、あまり耳にしたことがありませんでした。学がないもので申し訳ありません。

とりあえず最先端のグーグルで調べてみると、親睦会などといったイベントの中、参加者が他の参加者全員を前にして自身の意見を発表することを意味し、主な場合、業界の事情に関して深く知覚しているため聴衆にとっては日頃に接することのできない業種に属している人々の話を伺うことのできるゆえに、聴くことで自分の世界に対する視野が広がり人生において大きな糧となることが期待できる、これは主にロータリークラブで用いられる言葉であり各地のロータリークラブが運営する各サイト内でもこれはロータリーの用語であるかの如く解説されていました。実際にこの言葉を目にする機会の大部分がロータリークラブ関連であるものの、ライオンズクラブをはじめとする他のクラブや企業が行っているイベントの参加者によるスピーチを意味する言葉として使われていると書かれています。

さらに気になったので深追いで日本語辞典で調べてみるとその辞典では見当たりませんでした。さすがロータリー用語。ロータリー辞典にはのっています。

「卓話」英語にしてみると「テーブルスピーチ」・「テーブルトーク」と思い英語の辞典でしらべてみました。「テーブルトーク」ということばはあるが「テーブルスピーチ」という言葉はない。ただ「テーブルスピーチ」という英語の辞典にない英語が、国語辞典にはちゃんとでるからおどろきです。

「テーブルスピーチ（和製英語）会食などの席で行う簡単な演説、卓上演説」と、この出どころの曖昧な私生児的日本語を正しい日本語として認知するとすれば、「卓話」のもつ意味が全然違ったものになってくるからおもしろいです。

「卓話」の卓という字の意味は「つくえ」のほかに、広く「ぬきんでる」「すぐれる」の意味で使われ、卓識・卓説・卓論という熟語になります。「抜きんでた意見」「優れた論説」「優れた文章」というに使われ、この言葉の構成からすると卓話とは「ぬきんでた話」あるいは「優れた話」という展開になり、うっかり大先輩方の前では、自分が卓話をするのがおこがましくて話せません。なので司会の野澤会員この辺で終わりでしょうか？

言葉は生き物だといわれます。いずれこの「卓話」という言葉ものの用語として正式に認知され、国語辞典に乗ることになるかもしれません。もしくはなっているかもしれません。なんせ私が小学生のころの約30年物の熟成された辞典で調べましたのでご了承ください。



■ロータリーの奉仕哲学「超我の奉仕」Service above self■

このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。